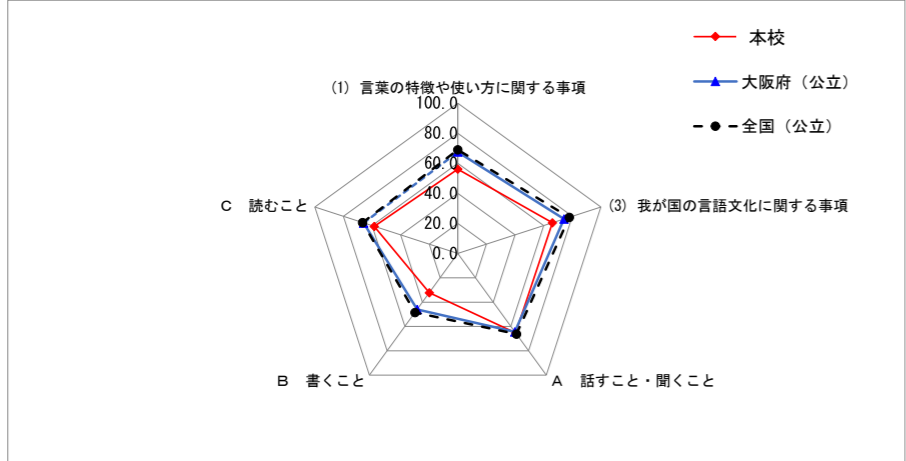
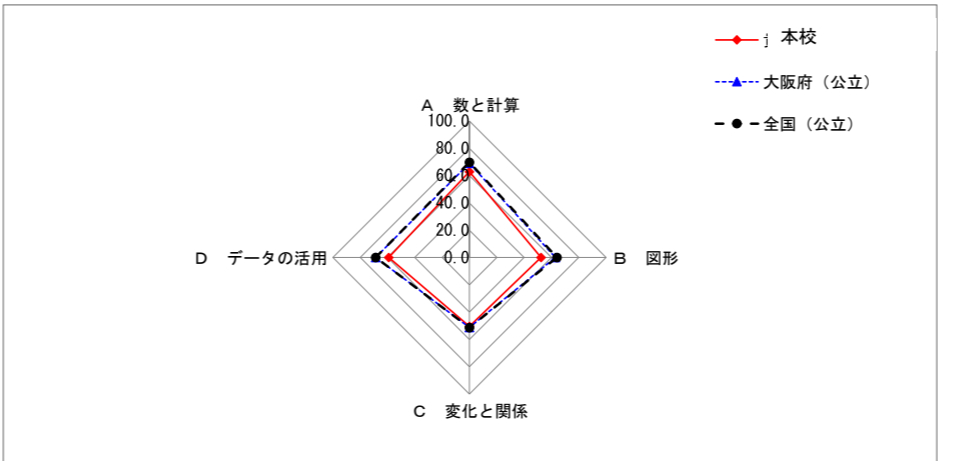
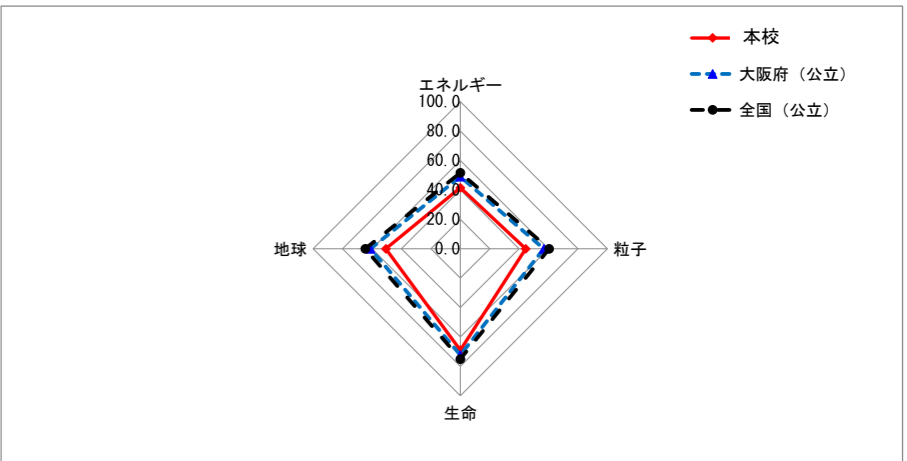


令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であります。しかしながら、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【国語】	【算数】	【理科】
 <p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」や「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題があり、正答率は国や府の平均を下回っている。 「話すこと・聞くこと」に関する問題の正答率は府を上回っている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることや漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られる。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動やスピーチ活動の充実と授業での振り返り活動の継続した取り組みの成果が出てきており、自分の考えをまとめられるようになってきている。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字や言葉など既習事項を日常的に使う機会を増やし、知識・技能の定着を図る。 長い文章を要約する等書く活動の充実を図る。 朝学習やICT機器を活用した反復練習を取り入れる。 	 <p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 「図形」領域の問題の正答率が低く、国や府の平均を下回っている。 整数の乗法の計算問題の正答率が100%など、全国平均、大阪府平均を上回っている問題もある。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することに課題がある。 目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ることに課題が見られる。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いて数量を考える経験を積み重ねてきたことが、自ら問題に取り組む態度に繋がっている。(無解答率が極めて低い。) <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、理由を述べるために必要な語彙を増やしていく。 表やグラフなど複数の情報を読み取り、的確にまとめる学習を積み重ねていく。 	 <p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験や観察で得た結果を問題の視点で分析・解釈し、自分の考えを持つことに課題が見られる。 昆虫の体のつくりの理解など、国や府の平均を上回っている問題もある。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析したり、自分の考えを記述したりすることに課題が見られる。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験や観察など、自ら経験し、正しい方法で行ったことは定着している。 予想し、実験し、結果を踏まえて考察する学習活動を今後も大切にしていきたい。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験結果から考えたことをまとめ、伝え合う場面を多く取り入れることにより、分析の目を養っていきけるよう、授業改善に取り組む。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
人の役に立つ人間になりたい	97	94	95	自分にはよいところがある	73	78	79
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている	89	85	87	学校の授業以外に、平日に勉強する時間が1日あたり30分より少ないか全くしない	32	25	15
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	81	70	68	平日に携帯・スマートフォン・コンピュータを使ったゲームにかかる時間が3時間以上である	45	35	31

※数値は小数点以下四捨五入

※数値は小数点以下四捨五入

<p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの規範意識や道徳心、前向きさについて、概ね良好な結果が出ている。 学習に対する関心・意欲・態度については、特に国語において良好である。 携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする時間やゲーム時間が長い児童が多い傾向にある。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「先生は自分の良い所を認めてくれている」「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と感じている児童の割合が大きい。 「国語や算数の勉強を大切に思っている」児童の割合が大きい。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分に自信が持てず、考えや思いを発表することがなかなかできない児童がいる。 携帯やスマートフォンを使ったゲームにかかる時間が長く、勉強にかかる時間が短くなっている児童が多い。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループでの話し合い活動やスピーチ活動を積極的に取り入れ、人前で話す経験を増やしていく。 スマートフォンやタブレット等の使い方について、発達段階に応じた啓発を継続して行っていく。 	
---	---	--

○保護者の皆さまへ(全体を通じて)

- 今回の調査において、本校では「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思う児童がたいへん多い(いずれも97%)という結果が出ており、規範意識や道徳心が育まれていると考えられます。
- また、「国語や算数の勉強を大切に思っている」児童の割合が大きい(いずれも90%以上)ことや、学力調査での無回答率が極めて低いという結果からは、学びに対する前向きな気持ちやねばり強く取り組む態度が育っていることがわかります。
- このことは、学校の教育活動だけの成果ではありません。ご家庭でも励ましのお声かけや対話を大切にさせていただくなど、ていねいに関わっていただいていることが、子どもたちの健やかな育ちにつながっているものと考えています。
- 一方で、「平日に携帯・スマートフォン・コンピュータを使ったゲームにかかる時間が3時間以上」と回答した児童が、本校においては45%に達しており、全国平均より14ポイントも高くなっています。これまでの全国調査において、ゲーム時間が長いほど、学力調査の平均正答率が低くなる傾向がみられるという相関関係もありました。
- スマートフォンやタブレット等の使い方については、学校でも学年の成長段階に応じた指導を行ってまいります。ご家庭でもお子さまの状況に合わせて話し合ってください、無理のない具体的なルールづくりや確認のお声かけをお願いいたします。
- 全国学力調査の問題は、長い文章を読み進めながら問題で問われていることを解釈し、表現することが問われます。学校では読書活動を充実させるとともに、教科学習においては、めあてを明確にし、自分で考え表現する活動や友達と交流し学習を深める活動を充実させてまいります。
- 学校といたしましては、学力の向上には、何よりも子どもたちの学ぶ意欲を高めることが大切であると考えております。学校では、ICT機器の活用も図りながら、子どもたちが学ぶ喜びを実感できる「わかる・楽しい」授業づくりに努めてまいります。
- ご家庭におかれましても、日々のお子さまの学校でのようすを語り合ってください、明日への意欲につながる温かい言葉かけを引き続きよろしくお願いいたします。